



2018年9月期 決算説明資料

 System Answer® シリーズ

アイビーシー株式会社

証券コード:3920

2018年11月21日

1. 会社概要 -----P. 2
2. 2018年9月期 決算概況-----P.14
3. 2019年9月期 業績予想-----P.19
4. 成長戦略に対する取り組み -----P.21

1. 会社概要



社名	アイビーシー株式会社 Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
事業所	東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル8F 大阪府大阪市淀川区西中島六丁目6番17号 RIC1stビル4F
設立	2002年10月16日
決算月	9月
資本金	43,843万円 (2018年9月30日現在)
代表	代表取締役社長 加藤 裕之
事業概要	・システム情報管理・性能監視ツール(System Answer シリーズ)の開発／ 販売／サポート ・IoTセキュリティサービス(kusabi) 等
従業員数	63名 (2018年9月30日現在)
市場	東証一部 (証券番号：3920)

キーワードは **ネットワークインフラの可視化**

ネットワークインフラの稼働状況や障害発生の予兆等を監視する情報管理/性能監視ツールの開発・販売・サポート、コンサルティング等を行っています

① **性能監視** のパイオニア

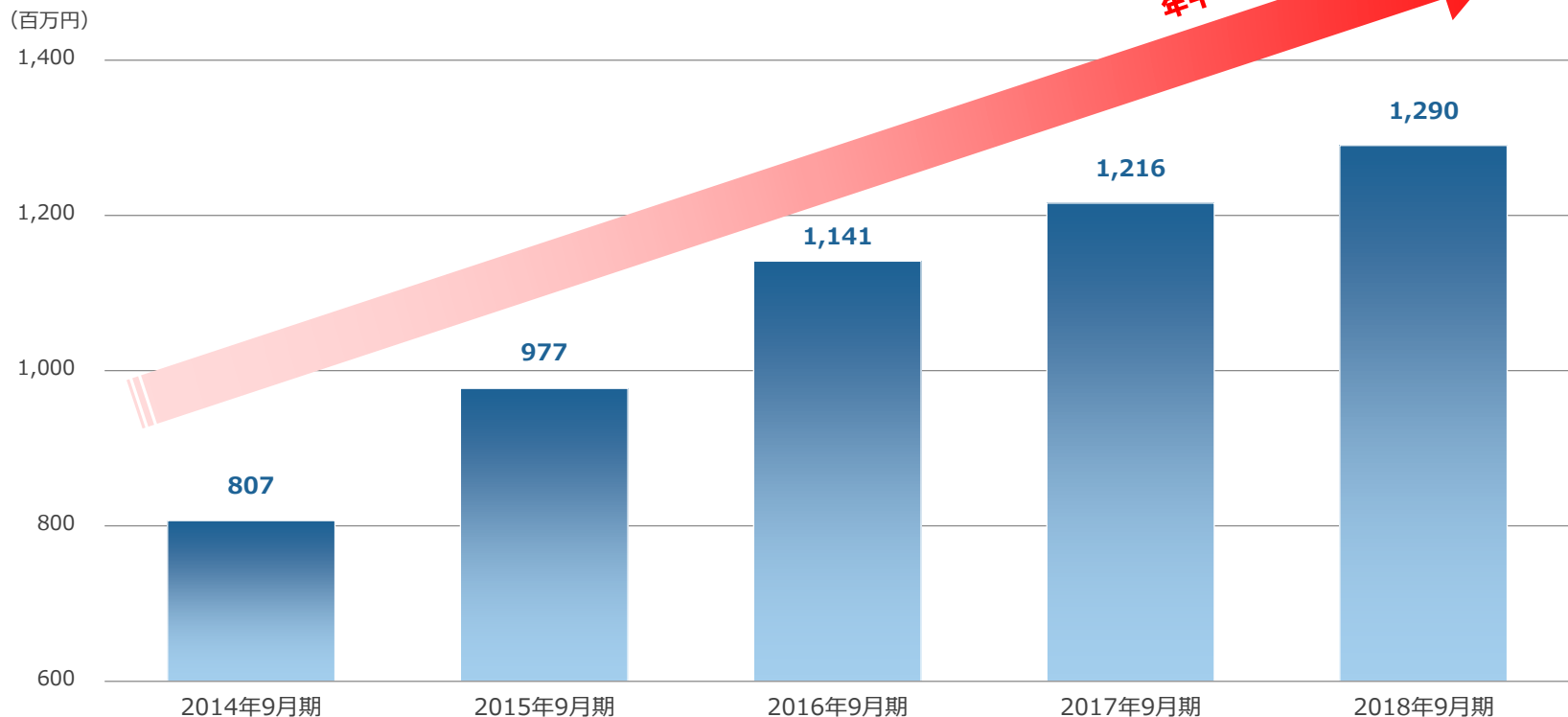
ネットワークインフラの問題を未然に防ぎ、性能維持・改善・コスト削減を実現する性能監視ツールをいち早く開発し、啓蒙・提案

② **分析・解析コンサルティング**

顧客の状況・課題に合わせ、さまざまな機器の状況を詳細に分析し、潜在的な問題を洗い出して改善策を提示

- ✓ 2018年9月期まで、**11期連続で過去最高売上高を更新。**
- ✓ **市場の成長** (年平均4%程度) **を大幅に上回る成長を継続中。**
- ✓ 2019年9月期は、**12期連続の過去最高売上高の更新に挑む。**

アイビーシー売上高推移 2014~2018年9月期の実績



- ① 自社製品開発
- ② 分析・解析ノウハウ
- ③ スtock型ライセンスモデル
- ④ サービスのワンストップ化

System Answer シリーズの製品コンセプトと効果

【製品コンセプト】

- 従来の監視 -

専門家による対応

単一ベンダー機器のみ対応

死活情報のみの把握

事後検知・事後対策

レポート作成が大変



- System Answer シリーズ -

誰もが簡単に

マルチベンダー 機器対応

稼働性能情報の把握

予兆検知・予防対策

レポート・キャパシティ計画

【効果】

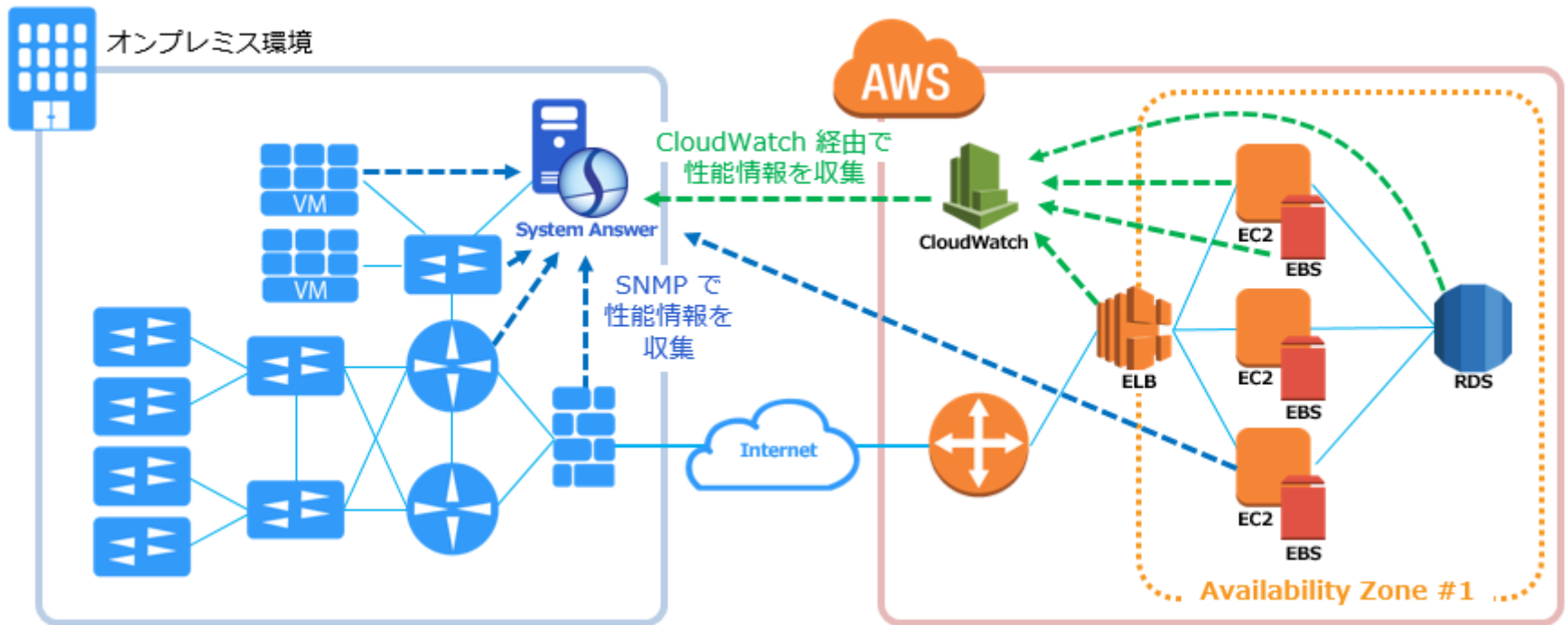
ネットワークを構成する、物理／仮想サーバーから幅広いメーカーの各種機器における性能情報の可視化と予兆検知を実現



ITインフラの性能維持・改善・コスト削減に貢献

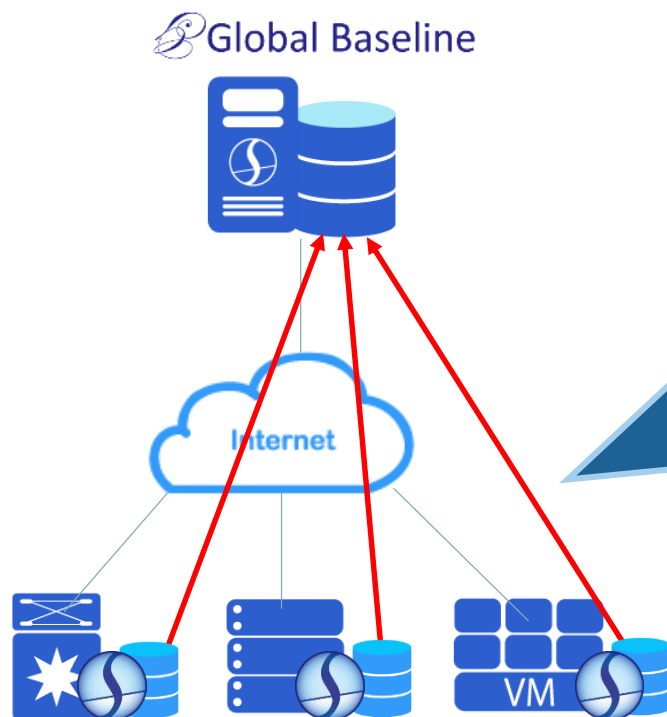
クラウドとオンプレミスが混在した環境の統合監視に対応

System Answerシリーズでは、近年増加が著しい、クラウドとオンプレミス環境を組み合わせ、柔軟で安全な環境を構築する「ハイブリッドクラウド」の統合監視に対応



※ アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon CloudWatch、Amazon ELB、Amazon EC2、Amazon EBS、Amazon RDSおよびAmazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

性能情報を収集し、統計的な指標データを独自に所有
様々な環境下のシステム稼働状況データを収集し、それを分析・解析すること
で、他にないマルチベンダー環境の統計情報と独自ノウハウを蓄積
将来的には **ネットワークインフラのビッグデータ** としての活用も視野に



統計情報コンテンツ

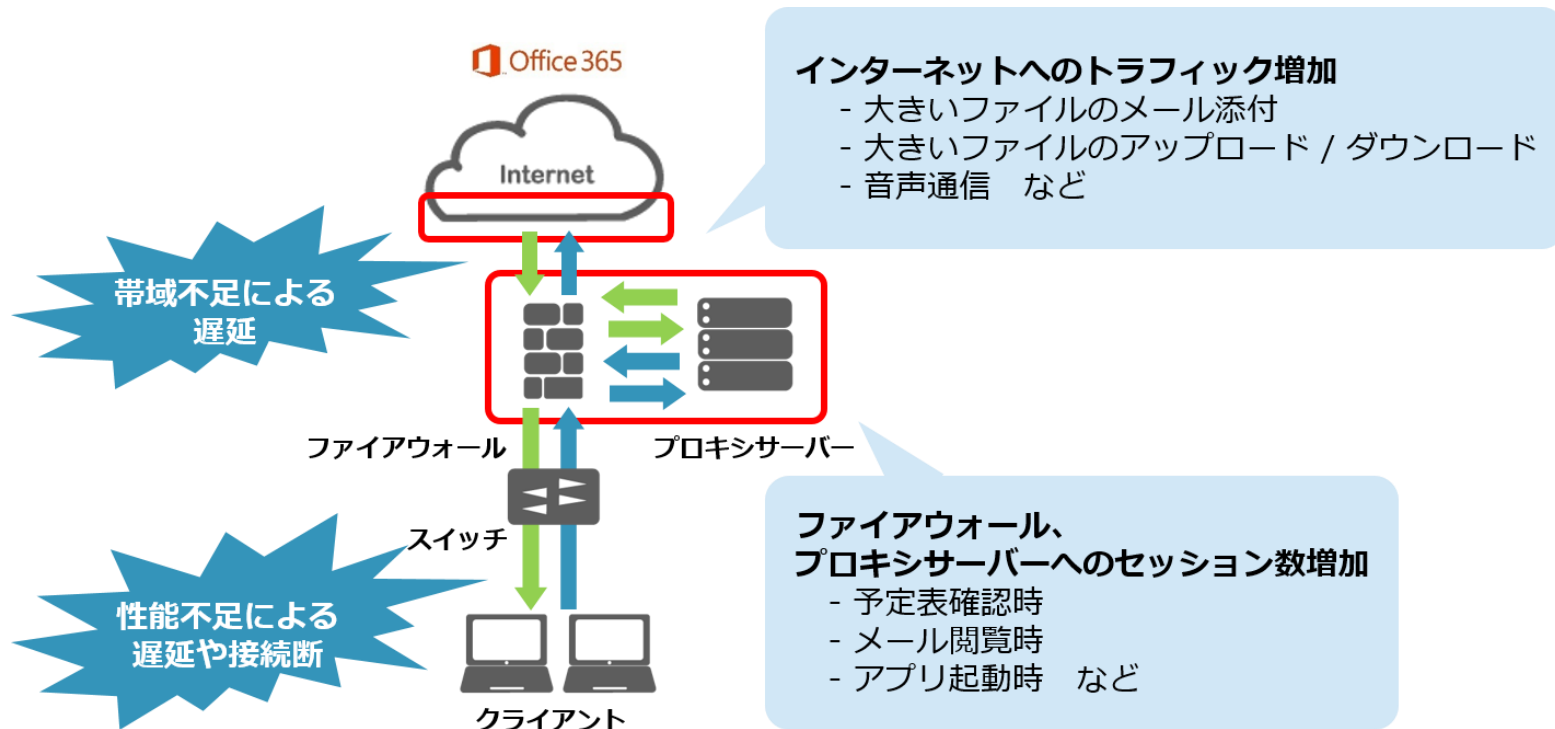
- ・ 機種別性能特性
- ・ 負荷と利用状況の相互関係
- ・ 導入ベンダーシェア
- ・ 導入機種シェア
- ・ 業種別導入機器傾向
- ・ 業種別負荷周期性

※ System Answer G2をご利用いただいている顧客に一部のデータをグローバルベースラインとして無償提供しています。

※ System Answer G2を利用いただいている顧客にて承諾頂いた場合のみデータ送信を行います。

クラウド / 仮想環境関連コンサルで運用課題を解決

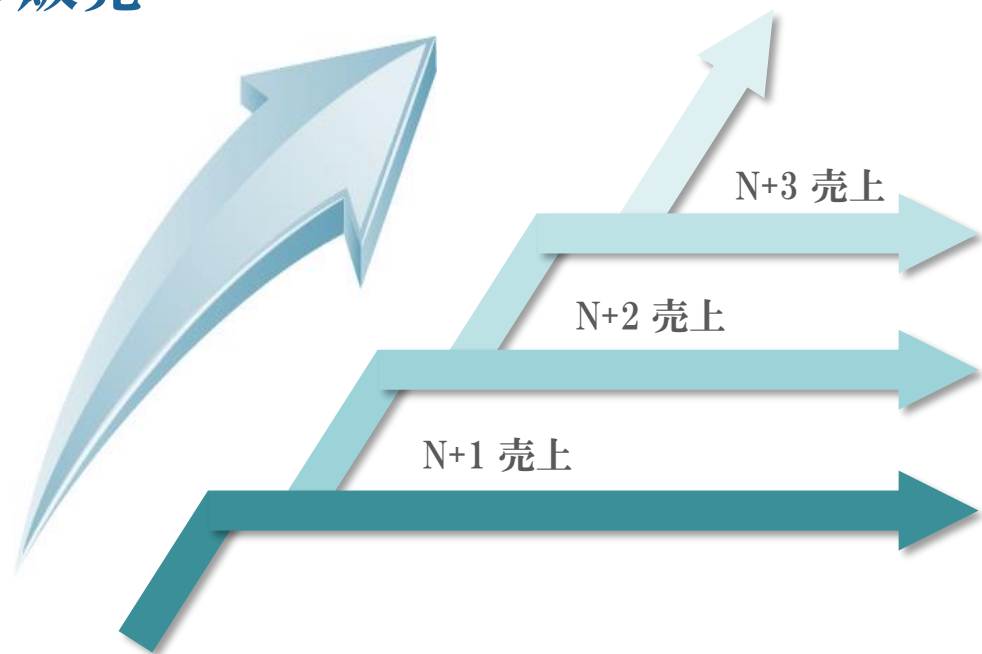
Office365 や VDI(仮想デスクトップ) 導入 後、システム遅延の原因調査やネットワークインフラの見直し案件が急増。ネットワークインフラに通じたコンサルタントの的確な分析・解析 により課題を解決



※ Office365 は、Microsoft Corp.の登録商標または商標です。

System Answer シリーズは **継続利用率が高く、安定感**
のある持続的な成長が可能

- ✓年間ライセンスの販売
- ✓複数年ライセンスの販売
- ✓長期契約の締結



導入実績 1,400システム以上 (一部抜粋)

あらゆる業種にわたる **大手優良企業を中心とした顧客構成**

公務・教育

千代田区役所
東京都日野市
白百合女子大学
日本大学 文理学部

医療・福祉

静岡県立総合病院
株式会社メディカル東友

金融・保険業

エイチ・エス証券株式会社
岡三情報システム株式会社
株式会社東京証券取引所
楽天生命保険株式会社
ワイジェイFX株式会社

建築・不動産業

小田急不動産株式会社
株式会社熊谷組
鉄建建設株式会社

製造業

株式会社エクセディ
NOK株式会社
カルピス株式会社
新日鉄住金化学株式会社
積水化学工業株式会社
株式会社寺岡精工
トラスコ中山株式会社
日新製糖株式会社
日本電子株式会社
ファイテン株式会社
ブリヂストンソフトウェア株式会社
マツダ株式会社
三菱重工業株式会社
三菱日立パワーシステムズ株式会社
株式会社YAMAGIWA

卸売・小売業

生活協同組合連合会 コープきんき事業連合
ブックオフコーポレーション株式会社
株式会社ローソン

情報通信業

株式会社IDCフロンティア
株式会社インターネットイニシアティブ
NTTコムウェア株式会社
株式会社NTTトラベルサービス
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社
KDDI株式会社
グリー株式会社
株式会社ジュピターテレコム
ソニー株式会社
TIS株式会社
株式会社東京商工リサーチ
東芝クライアントソリューション株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社ニッセイコム
株式会社野村総合研究所
株式会社光通信
株式会社日立システムズ
株式会社ベネッセインフォシエル
ヤマトシステム開発株式会社
リコージャパン株式会社

IBCソリューション

System Answer シリーズと相乗効果のある周辺ソリューションの拡充により、提案の幅を広げ、お客様の課題を **ワンストップ** で解決

<p>ユーザー エクスペリエンス</p>	<p>●性能監視の指信データ 性能指標公開サービス Global Baseline マルチベンダー環境で計測される性能指標を「Global Baseline サーバー」にて収集・統計を行い、各製品の性能監視の指標となる統計情報を公開するサービスです。</p>	<p>●ユーザー体感レスポンス 品質管理サービス レスポンス 国内外の複数拠点からサービス品質の指標となるレスポンスを測定し、「お客様の体感レスポンス」を簡単に低コストで把握することが出来るサービスです。</p>	<p>●運用自動化 運用自動化プラットフォーム Kompra 運用状況監視の自動化により、人的コストの削減とサービス品質の向上を実現します。各種システムと連携可能なため、今あるシステムを最大限有効活用できます。</p>	<p>●クラウド型エンドポイント管理 エンドポイントセキュリティ管理 ISM CloudOne 契約型攻撃対策や内部不正防止に有効なクラウド型 IT資産セキュリティ管理サービスです。ローションリード、どこにいても管理対象すべてにポリシーの適用と機能対応の実施が可能です。</p>	<p>資産・脆弱性管理</p>
<p>アプリケーション</p>	<p>●ネットワークシステムの稼働状況・障害予測の把握 情報管理 / 性能監視ソフトウェア System Answer シリーズ 独自の操作性で、誰でも直感的にネットワークやサーバー機器の稼働把握が可能です。長期および短期の傾向を的確に把握することで、障害の発生を見逃しません。</p>	<p>●プロトコル別トラフィック監視 ネットワーク品質の可視化オプション Quality Analyzer Option ネットワークシステムの性能特性と稼働上を反映したデータを組み合わせることで、インフラ機器の性能特性や運用側の品質状況（パケットロス率、コネクティビティ、RTT、アプリケーション遅延）までを一元的に可視化することが出来ます。</p>	<p>●クラウド型インフラ管理 次世代 MSP サービス SAMS ネットワークシステムの情報管理 / 性能監視に長年携わってきた経験を活かし、従来の稼働を発生させないインフラ環境を構築することを目的としたサービスです。</p>	<p>●脆弱性管理 あらゆる資産を可視化 tenable エージェント型、アクティブスキャン、パッシブスキャンなど豊富な検出方法で、継続的な管理を実現します。Tenable が Approved Scanning Vendor のため、ユーザー自身で PCI DSS 認証が可能です。</p>	<p>対策</p>
<p>ミドルウェア</p>	<p>24 時間 365 日サポート 24 365 System Answer シリーズの専守サポートを夜間および休日まで拡大し、24 時間 365 日の保守サービスを提供します。</p>	<p>●内部統制・セキュリティ対策 統合ログ管理オプション LOG OPTION 各機器が出力するシスコログ、イベントログ、アプリケーションログを収集し、ネットワークシステムの稼働情報とあわせて、運用に必要な情報を一元管理することが出来ます。内部統制強化、情報セキュリティ対策、システム障害対応などにも活用いただけます。</p>	<p>クラウド型性能監視サービス on SAMS 情報管理 / 性能監視ソフトウェア「System Answer シリーズ」をクラウドサービスとして提供します。高機能かつサーバーレスの柔軟な運用を実現し、運用コストを削減し、お客様の課題に最適なクラウド型監視サービスです。</p>	<p>●クラウド型 WAF クラウド型 WAF および DDoS 対策 IMPVERA INCAPSULA Website Security, DDoS プロテクトアクション、ロードバランシング、CDN のサービスがひとつになったクラウドサービスです。大規模攻撃、プロトコルベース、アプリケーション DDoS 攻撃を網羅した対策が可能です。</p>	<p>対策</p>
<p>os</p>	<p>レポートサービス レポートサービス ネットワークシステムの監視に長年携わってきた経験豊富なエンジニアが、客観的な立場でお客様の ICT システムを分析し、結果をご報告します。</p>	<p>●コンフィグ管理 総合的なコンフィグ管理 Net LineDancer コンフィグ管理とオペレーションセンターミドルウェアとして活用できます。完全日本語対応、ウィザードによる GUI を提供し、異機種でも簡単に管理できます。</p>	<p>クラウド型統合ログ管理サービス LOG on SAMS シスコログ / トラップ や Windows / NetApp / VMware、クラウド環境などの各種ログを収集し、継続的な分析やリアルタイム検知・通知可能な統合ログ管理システムを、クラウドサービスとして提供いたします。</p>	<p>●クラウド型 WAF Web セキュリティサービス 攻撃遮断くん 対象サイトは国内 No.1 で、運用でお客の手を煩わせることなく、web サービスのセキュリティ対策が可能です。国内唯一の定額制サービスを提供しています。</p>	<p>対策</p>
<p>ネットワークサーバー</p>	<p>運用支援サービス 運用支援サービス 製品の使用方法や活用方法のレクチャー、監視項目の見直しといった製品の有効活用の提案をおこなっています。</p>	<p>●ネットワークの詳細調査 フロー分析、異常な問い合わせ Flowmon フロー分析によって、より高度なセキュリティ対策、詳細なネットワーク調査をおこなうことが出来ます。ADS オプション機能により、異常な問い合わせも可能です。レポート機能も充実しています。</p>	<p>●クラウド型 WAF Web セキュリティサービス 攻撃遮断くん 対象サイトは国内 No.1 で、運用でお客の手を煩わせることなく、web サービスのセキュリティ対策が可能です。国内唯一の定額制サービスを提供しています。</p>	<p>●統合ログ管理・セキュリティ分析 統合ログ管理システム Logstorage X / SIEM ログの相関分析により、グレーなログをリアルタイムに検知します。事前作成したルールにもとづき、フィルタリング・検知を実施します。フィルタ後のログは、長期保存が可能です。</p>	<p>分析</p>
<p>詳細トラフィック</p>	<p>情報管理 / 性能監視 System Answer シリーズ</p>	<p>品質管理</p>	<p>運用管理 サービス</p>	<p>セキュリティ対策</p>	<p>分析</p>

2. 2018年9月期 決算概況



業績ハイライト

- ✓ 売上高 1,290百万円 (前期比 6.1%増)
- ✓ 経常利益 205百万円 (前期比 21.5%増)
- ✓ 当期純利益 141百万円 (前期比 23.3%増)

ポイント

- ✓ 「System Answer G3」の新規大型案件の複数受注等により、前期比で増収増益を達成。
- ✓ 11期連続で過去最高売上高を更新。

- ✓ 売上高は、前期比6.1%増にて着地。
- ✓ 売上総利益は、物販が増加したものの、引き続き高水準を維持。
- ✓ 販管費は、採用教育費等が増加するも、社内システム費や備品費の減少もあり、当初計画値以下の水準で進捗。

(単位:百万円)

区 分	2018年9月期	2017年9月期	前期比(%)
売上高	1,290	1,216	106.1
売上原価	277	210	132.0
売上総利益 (利益率)	1,013 (78.5%)	1,006 (82.7%)	100.7
販売費及び一般管理費	811	819	99.0
営業利益 (利益率)	202 (15.7%)	186 (15.4%)	108.2
経常利益	205	169	121.5
当期純利益	141	115	123.3

- ✓ 主力のライセンスの販売は、新製品「System Answer G3」の新規大型案件の複数受注、追加大型案件の受注及び更新案件の着実な積み上げ等により、堅調。
- ✓ サービスの提供は、ライセンス販売の受注に伴い発生した構築・運用サポート需要への対応等を継続実施。
- ✓ その他物販は、前期より3割強の増加。

(単位:百万円)

区 分	2018年9月期	2017年9月期	前期比(%)
ライセンスの販売	906	878	103.1
サービスの提供	181	184	98.6
その他物販	203	153	132.3
合 計	1,290	1,216	106.1

- ✓ 人件費は、前期と同水準。成長に向けた積極採用を進めた結果、採用教育費は5倍以上に増加。
- ✓ 備品費は、本社増床に伴う増加があった前期と比べ9割の減少。
- ✓ 社内システム費は、システム増強ニーズの一巡により、半減。

(単位:百万円)

区 分	2018年9月期	2017年9月期	前期比(%)
人件費	447	441	101.2
採用教育費	28	5	561.6
備品費	1	14	9.8
社内システム費	14	30	46.8
その他	319	327	97.5
合 計	811	819	99.0

3. 2019年9月期 業績予想

※ IBC

- ✓ インシュアテックにフォーカスを当てた事業推進を行うiChain株式会社を連結子会社化し、2019年9月期より連結決算を開始。
- ✓ 連結売上高は、前期（個別決算）比4割以上の増加と、12期連続の過去最高売上高更新を目指す。また、連結の各段階利益についても、同3割以上の増加を見込む。

（単位：百万円）

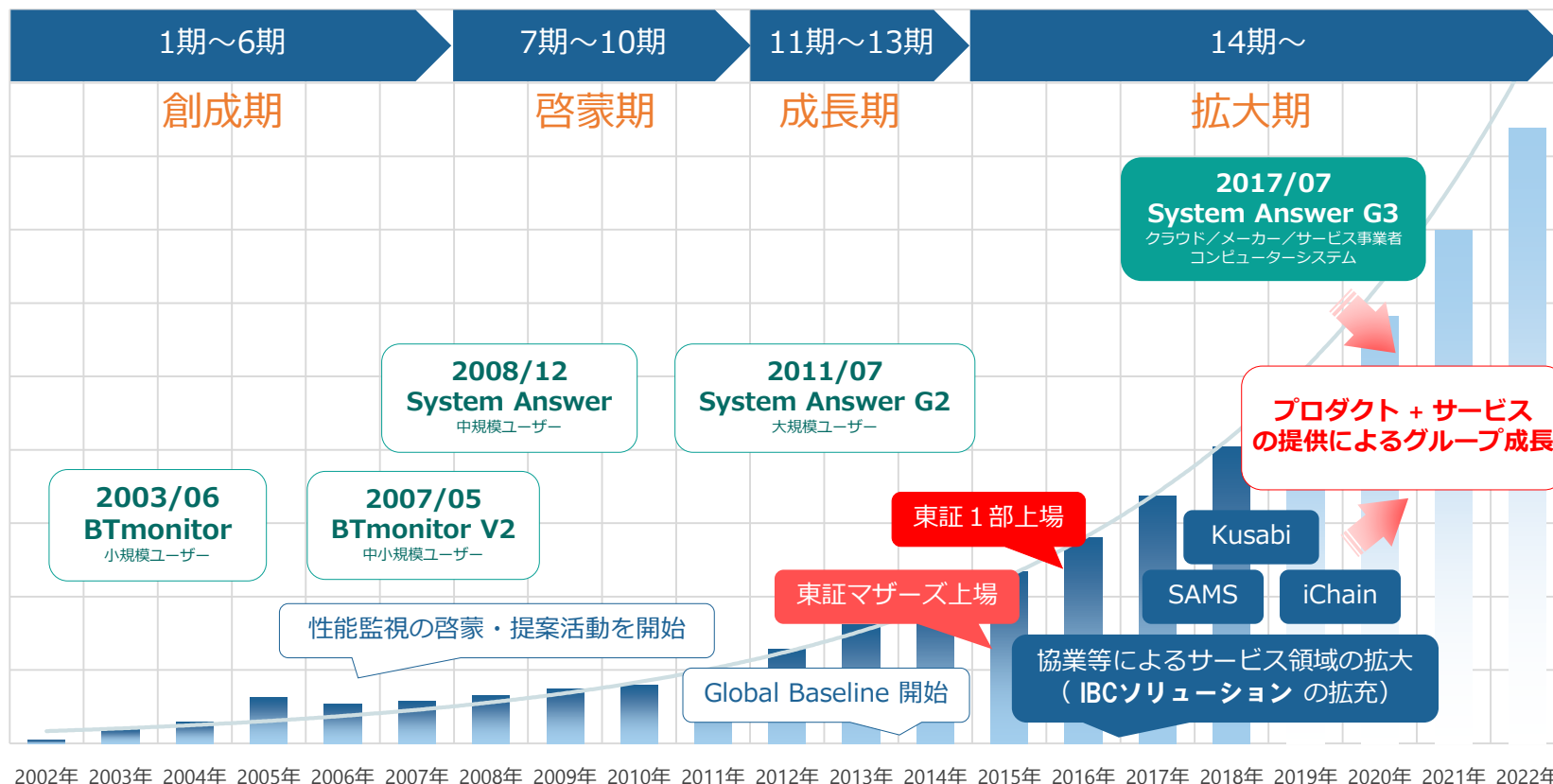
区 分	2019年9月期 （連結予想）	【参考】 2018年9月期 （個別実績）	【参考】 前期比（%）
売上高	1,837	1,290	142.4
営業利益 （利益率）	277 (15.1%)	202 (15.7%)	137.2
経常利益 （利益率）	276 (15.1%)	205 (15.9%)	134.6
親会社株主に帰属する当期純利益 ※ （利益率）	186 (10.1%)	141 (11.0%)	131.1

※2018年9月期（個別実績）は、当期純利益となります。

4. 成長戦略に対する取り組み

※ IBC

性能監視のリーディングカンパニーからITサービスへ進化を続けるSystem Answerシリーズを中心に、他社との協業等によるサービス領域の拡大(IBCソリューション 等の拡充)を推進。今後はグループ経営によりマーケットの変化に対応した **サービスの積極的な提供** による成長を目指す。

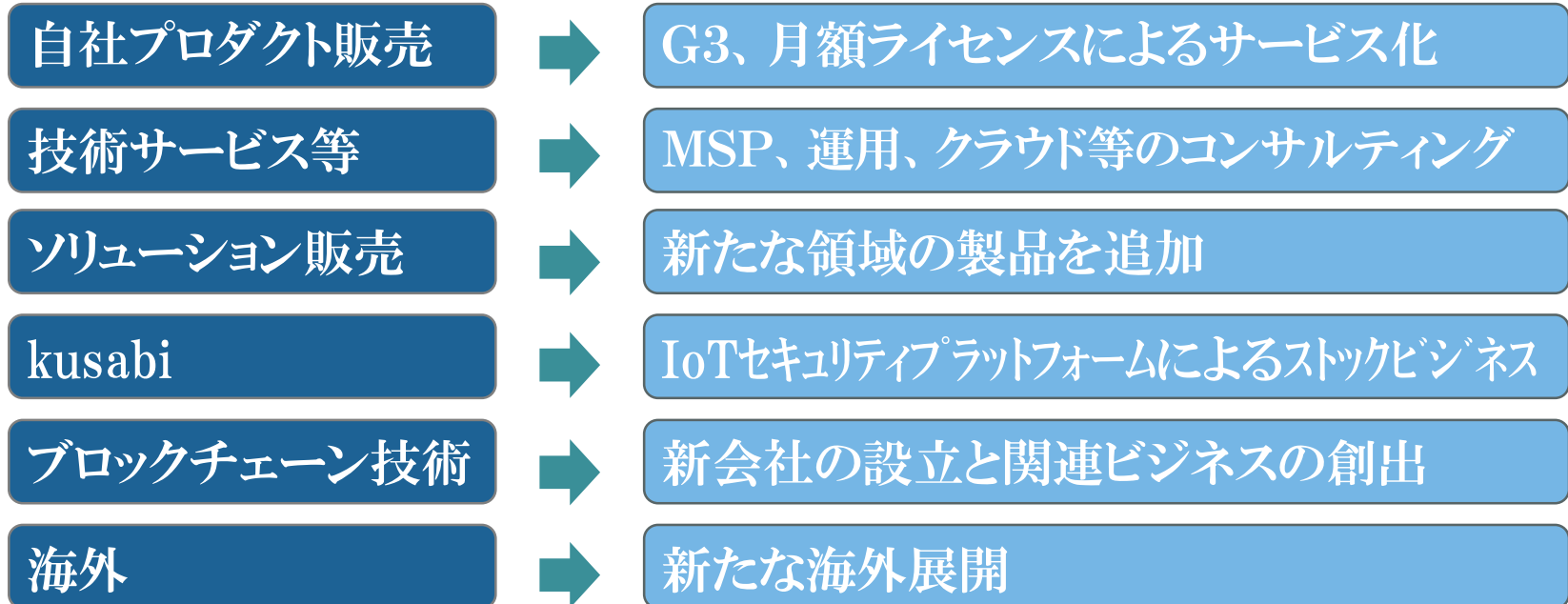


2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年

今後のグループ経営の方向性

- ✓ 独自の技術力を持って、顧客やマーケットの課題を解決するサービスを提供し、ストック性を高めた持続性のある成長を目指す

【主要戦略】



コアテクノロジーで共創の核を提供するITサービス企業体へ (2022年9月期目途)

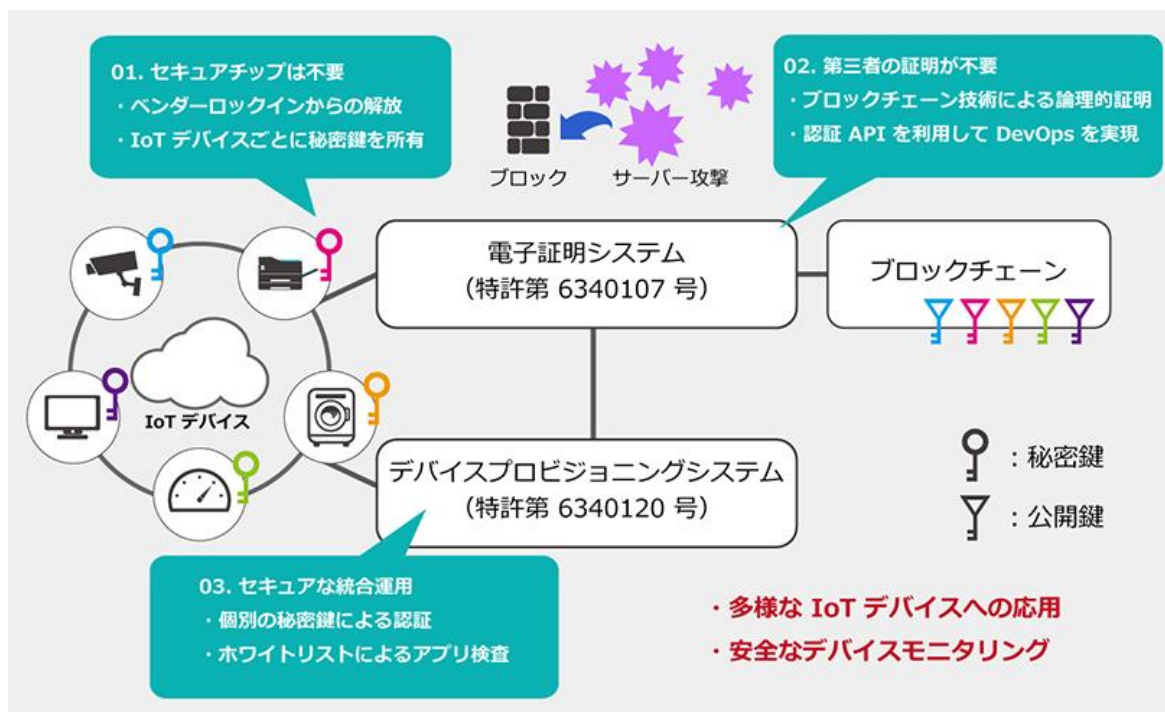
- ① 成長分野進出
- ② サービス領域拡大
- ③ 新製品発売

ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス **kusabi** 1/3

- ✓ IoT市場は、2020年には約365兆円、デバイス数300億個と、急激な拡大が見込まれ、膨大な数のIoTデバイスをネットワーク上で運用する際に、**セキュリティ対策は喫緊の課題**となっている。
- ✓ **kusabi** は、IoTの設計・開発・量産・運用まで、一貫性のあるセキュリティ対策を提供する「IoTセキュリティ基盤サービス」。
- ✓ 2大中核技術「電子証明システム」と「デバイスプロビジョニングシステム」は2018年5月に **特許取得** 済。
- ✓ kusabiの利用により、ベンダー依存の解消、コスト削減、様々な種類のデバイスへの対応、デバイスの進化や新技術への柔軟な対応が可能となる。
- ✓ VEC(Virtual Engineering Community)に入会し、ビジネスユースをふまえた具体的なテストを検討中。

ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス kusabi 2/3

✓ kusabiでは、**ブロックチェーン技術による電子証明システムと、独自のデバイスプロビジョニング技術により、ソフトウェアのみでIoTセキュリティを実現する。**



ブロックチェーン技術を利用したIoTデバイス向けセキュリティサービス kusabi 3/3

- ✓ kusabiのコンセプトは、IoTデバイスに最適な情報セキュリティの3要素（完全性、可用性、機密性）を提供すること。
- ✓ 「完全性」と「可用性」を兼ね備えたブロックチェーン技術を電子証明サービスに応用し、IoTデバイスごとに「機密性」の高い仕組みをソフトウェア層で実現することで、次の「3つの不要」を実現する。

ブロックチェーン技術




認証局登録が不要

デバイスセキュア
デバイスプロビジョニング



専門チップが不要

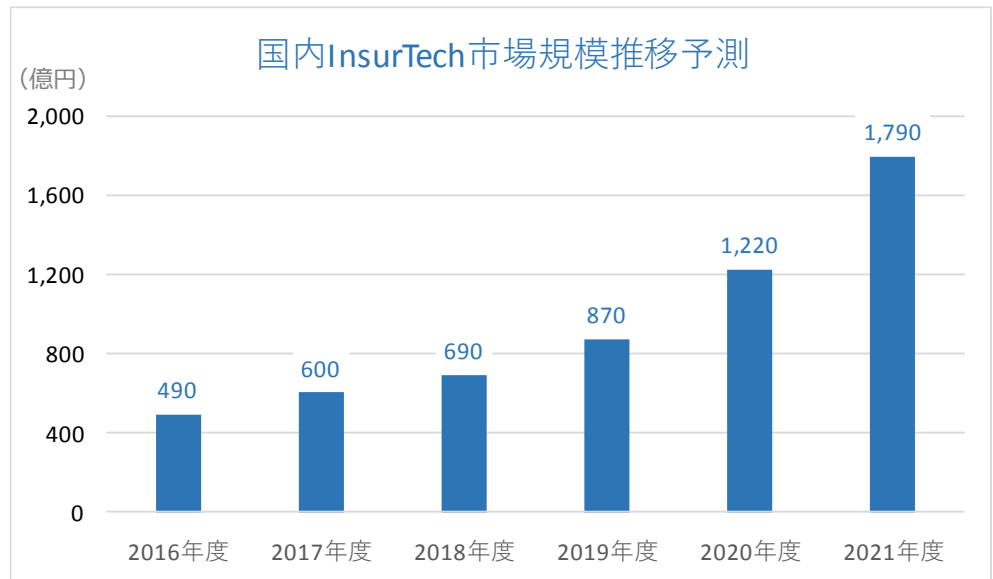
デバイスプロビジョニング



マルウェア対策が不要

InsurTech(インシュアテック)市場

- ✓ **InsurTech** は「保険」と「テクノロジー」を掛け合わせた言葉 で、IT技術を活用することで、従来の保険業界では不可能であった業務効率化及び高度化や、新サービス、新商品の開発等を行うことを意味する。
- ✓ 矢野経済研究所によると、**2018年度の国内InsurTech市場規模は**、AI等を活用した業務の効率化・高度化ソリューションが市場をけん引し、**690億円**の見込み。
- ✓ 保険の支払業務や引受審査における人工知能やロボットによる業務自動化の導入が進んでいる他、保険増進に向けた取組みにおけるIT活用の急速な進展等により **2021年度には1,790億円に達する**と予測。



※ 株式会社矢野経済研究所発表資料 (2018.08) より
2018年度は見込、2019年度以降は予測値。参入事業者売上高ベース

1. 子会社iBeedの設立、商号変更によりiChain株式会社へ

- ✓ 2016年4月設立、6月に「ブロックチェーン推進協会 (BCCC)」に加入、2017年8月に「Fintech協会」に加入。
- ✓ 2018年4月にiChain株式会社へ商号変更。



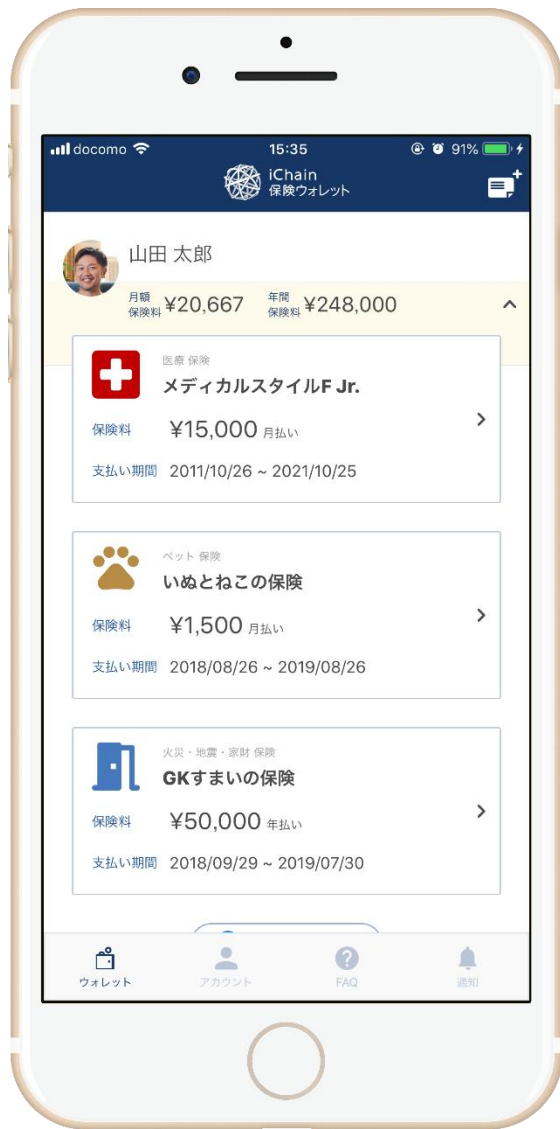
コンシューマーおよび保険事業者に対して

人と人を技術でつなげる

というコーポレート・メッセージとブロックチェーンのイメージを「Chain」というキーワードに込めています。

2. ブロックチェーン分野での業務提携からInsurTechへ

- ✓ 2016年8月に **ブロックチェーン技術専門会社**（コンセンサス・ベイス社）と、2017年6月に **保険業界に多くの顧客** を持つパクテラ・コンサルティング・ジャパン社とそれぞれ業務提携。
- ✓ ブロックチェーンの著名技術者である志茂博氏がCTOに就任。
- ✓ 2017年10月にINSURANCE FORUMにて講演。
- ✓ 2018年4月に資金調達（第三者割当増資）を実施。
- ✓ 2018年5月ナレッジソリューションズグループと連携し、**保険業務プラットフォーム** 実現に向けた **ブロックチェーン技術の商用化検証** 開始。
- ✓ 2019年9月期より **連結子会社** 化。今後も **他社に先駆け、InsurTechにフォーカスした積極的な事業推進** を予定。



iChain 保険ウォレット

- ✓ 2018年5月、保険ポートフォリオ管理スマホアプリ「iChain保険ウォレット」を AppStore、Google Playから無料で配信を開始。
- ✓ 加入している保険の保険商品名、契約者、保証対象者、保険料、保険期間などの基本情報および、保険証券イメージをスマートフォンで登録・閲覧可能。さらに加入保険の情報を家族のスマートフォンへ共有できる。
- ✓ 「もしも」のときに迷わず自身や家族が保険事業者へ連絡し、保険金や給付金の請求ができる。

次世代MSP サービス「SAMS」の提供

- ✓ 2017年8月より、次世代MSPサービス「**SAMS (Speedy Action Management Services)**」の提供を開始。
- ✓ 当社の **性能分析ノウハウ**を活用した**24時間365日の有人監視体制**により、お客様のシステムの**安定稼働・障害対応・原因究明・分析**をサポートするサービス。
- ✓ 監視における「**トラブルの未然防止**」と「**トータルコスト削減**」に寄与する。

即時検知

24時間365日体制で即時に対応が可能

障害復旧支援

1次対応から障害対応・レポート作成までを代行

コスト削減

自社管理でなくサービス利用によりコスト削減

- ✓ 2018年6月からは、インフォサイエンス社が提供する統合ログ管理ツール「Logstorage」をクラウドサービスとして提供する「Log on SAMS」も開始。

公共・文教分野での取組強化

- ✓ 第4次LGWAN(統合行政ネットワーク)事業に向けた提案活動を実施。
- ✓ また、2017年12月より **西日本電信電話社、日本マイクロソフト社** と共に **SINET(学術情報ネットワーク)向け監視ソリューションサービス「System Answer for Microsoft Azure」**の提供開始。
- ✓ 本ソリューションの利用により、Azure上で稼働する仮想マシンやネットワーク機能の詳細情報を含む、**ハイブリッド環境全体を一元的に管理** ことができ、TCO削減、ネットワーク改善、セキュリティ向上が実現できる。

・TCO削減

System Answerシリーズの性能監視機能とAzure Monitor APIの連携により、最適なリソース割り当て計画と詳細な監視が可能

・ネットワーク改善

Azure Monitor APIではExpressRoute、VPN Gatewayといったネットワーク性能情報も取得でき、ネットワーク改善に寄与

・セキュリティ向上


Log Optionは、Azure、Office365、Active Directory等の統合的なログ管理できるため、標的型攻撃等のセキュリティ対策にも活用可能

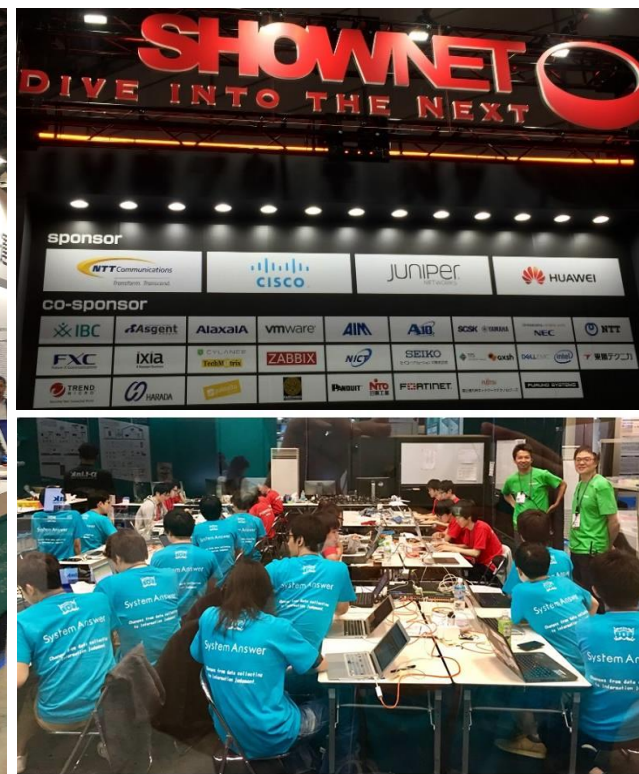
- ✓ **システム情報管理** に対応した「 System Answer® G3」を、2017年7月より販売開始。
- ✓ 今後は、継続的にオプション機能の充実を進める予定。



⚙️ システム情報管理のポイント

- 1 自動設定
- 2 自動分析
- 3 自動レポート

- ✓ 最先端ネットワーク技術・製品の展示会 Interop Tokyo 2018及びクラウドコンピューティング関連の専門展クラウドコンピューティングEXPOに出展し「 System Answer® G3」を紹介。
- ✓ また、最新技術を用いた世界最大級のライブデモンストレーションの場である ShowNetにコントリビューターとして参加。



- ✓ 本資料は、アイビーシー株式会社(以下「当社」といいます。)の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。
- ✓ 本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- ✓ 本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。今後の業績等は事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって、予想と異なる可能性がありますので、予めご承知おきください。